

診療科目

心療内科（内科一般、心身症）：アレルギー疾患、消化器疾患、摂食障害、慢性疼痛、生活習慣病（糖尿病など）、心因性発熱、不安障害、身体表現障害など

専門医研修指導医

責任者： 須藤信行 教授

実務者： 岡孝和准教授、河合啓介講師、
細井昌子講師
高倉修助教、富岡光直助教、古川智一助教
吉原一文助教講師

27年度 後期専門研修医 5名



取得可能な認定医・専門医

まずは、日本内科学会認定内科医を目指します。

全員が取得できるもの： 日本内科学会認定内科医、日本心身医学専門医、
日本心療内科学会登録医、日本心療内科学会専門医

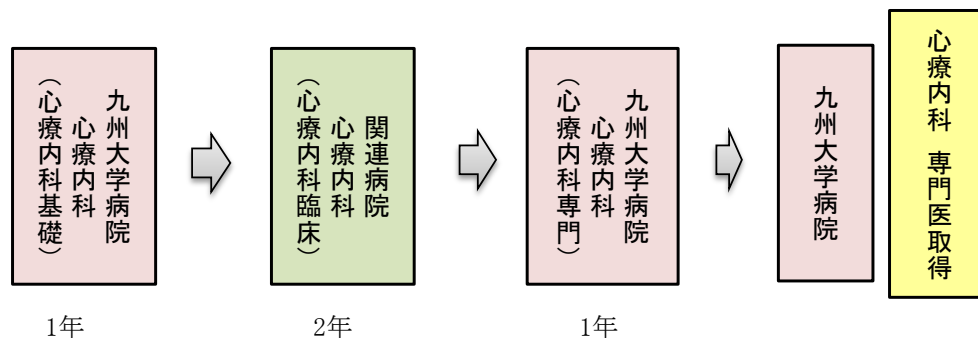
希望者が取得できるもの： 総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本肥満学会専門医、
日本睡眠学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、
日本アレルギー学会専門医、日本糖尿病学会専門医、
日本呼吸器学会専門医、など

専門医研修システム

1コースを開設しており、4年のコースです。

◆ 心療内科臨床研修コース（4年）

心療内科診療の基礎的な知識・技術を身に付けた上で、関連病院において幅広い実践的な心身医療の現場において、経験と技術を身に付ける。各人の興味を生かしたより専門性の高い診療の実践的指導を受けるとともに、専門医の資格の取得を目指す。



診療科の活動 / PR

九大心療内科は、1961年、全国で初めて精神身体医学研究施設が九州大学医学部に附設されたことにはじまります。

1963年には講座になり診療科名として日本で始めて「心療内科」という名称がつけられました。研究内容は多岐にわたっていますが、メインはこころと体の相互作用（心身相関）の機序に関する基礎・臨床研究です。

現代医学が身体面のみを重視してきたことへの批判として、「全人的医療」の重要性が叫ばれています。患者の病気だけを診るのではなく、個別の歴史を背負った病む人として全人的に診療していく—この重要性をいち早く認識し、実践してきたのが心療内科です。

九大心療内科は、内分泌・代謝、アレルギー、消化器・慢性疼痛、神経生理、心理の各心療内科領域における指導医を有しており、創設以来の伝統である医師、心理士、看護師によるチーム医療を実践しています。また心療内科の門を叩いた医師に対しては、心身両面からの病態の診断と治療ができるように、日々の診察や症例検討会を通じた教育活動にも力を入れています。

セミナーのお知らせ

九州大学病院心療内科をより深く知っていただくためのセミナーを開催しています。

4月の土日(2日間):心療内科メディカルセミナー

於 九州大学病院

8月の3日間:心療内科夏季オリエンテーションレクチャー

於 九州大学病院

12月の土日(2日間):心療内科メディカルセミナー

於 九州大学病院

九州大学病院心療内科や関連施設で活躍する心療内科のプロ達によるわかりやすい講義や実習などが行われます。

夏のレクチャーには全国から60名の医師・コメディカル・学生達たちが九大心療内科に集まり、心身医学について熱く語り合います。

ご興味のある先生方は下記ホームページをご参照いただき、お気軽にご連絡ください。

その他の心身医学関連のセミナー情報も掲載しています。

心療内科ホームページ

<http://www.cephal.med.kyushu-u.ac.jp/>

連絡先

電 話 : 092-642-5318 F A X : 092-642-5336

E-mail : furukaw@cephal.med.kyushu-u.ac.jp (医局長)
akane-k@cephal.med.kyushu-u.ac.jp (医局長秘書)

担当者 : 医局長 古川 智一

診療科HP : <http://med.kyushu-u.ac.jp/cephal/>